

## 平成 20 年度 維持・存続が危ぶまれる集落に対する実地調査について

### 【目的】

維持・存続が危ぶまれる集落において、

- ①居住の実態や住民の不安・要望を継続的に把握する「目配り」
  - ②地域づくり（地域の暮らしの将来像の合意）
- を推進するため、先行的にモデル地区を選定して実地調査を行う。

### 【調査対象地域】

高齢化率 50%以上の集落を含む全国 20 地区

### 【調査の内容】

#### ①アンケート調査の実施：集落のニーズの把握 別添参照

（調査期間：平成 20 年 8 月～9 月）

年齢、家族構成、職業、主な収入・支出構成、生活時間、車での移動・インターネット利用状況、生活上の困りごと、困ったときに頼る者、移転意向、移転したくない理由、移転したい理由、移転の障害などについて世帯主アンケート調査を実施。

#### ②集落づくりワークショップ（WS）の開催：地域づくり手法の検討・支援

（実施期間：平成 20 年 7 月～10 月）

地区の住民に集まってもらい、地域の魅力、課題、不安等について、専門家、自治体担当者も参加して地域づくりの方向性について議論。各地区 2～3 回ずつ実施。

ワークショップ形式の集落作り手法等、成果をハンドブックにとりまとめる予定。